

近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

森林教室の開催

1月17日(火)、島田小学校(大阪府豊中市)において、6年生(48名)を対象に、樹木の光合成等について学んだ後、木の枝などを材料とした木工クラフト作りに挑戦する森林教室を開催しました。

この取組は、当センターが昨年主催した「森林環境教育野外セミナー」に参加した先生からの要請によるもので、児童が作ったアクセサリ等は市内のお年寄りとの交流の際にプレゼントするものです。

「森林のはたらきや光合成のことがよくわかった。(児童)」、「日頃、森林や木材に触れることが少ない子供たちにとって、貴重な体験だった。機会があれば、このような時間を作りたい。(先生)」などの感想が聞かれました。



カワウワーキンググループ拡大会合



1月31日(火)、京都市において、伊崎国有林の植生回復対策に焦点を絞った検討を行うため、従来の委員の他に(独)森林総合研究所関西支所・大住克博地域研究官を加え、滋賀県自然環境保全課や伊崎国有林の所在する近江八幡市からのオブザーバー参加を得たワーキンググループ拡大会合を開催しました。

今年度実施した植生調査の結果を踏まえ、植栽樹種や保育方法、稚樹の保護対策、経過観察等の植生回復対策について、活発な意見交換が行われました。この検討内容を活かし、来年度以降、滋賀森林管理署が主体となって樹木枯死地での植栽等植生回復対策に取り組んでいくこととしています。

セミナー講師の派遣

1月29日(日)、京都市において、「京都の木の文化を活かした安心・安全の住まい・まちづくりセミナー(柚人工房木輪舎主催、京都市林業振興課後援)」が開催(参加者35名)されました。

第1部「森をよみがえらせよう!」では、当センターの職員が講師として、森林の有する多面的機能の重要性や木材利用の必要性等について講演を行いました。

参加者から、「地球温暖化防止をはじめ森林の重要性が理解できた。」、「国産の木材をもっと使うことが大事だ。」などの感想が聞かれました。



近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター

TEL:075-414-9049/FAX:075-414-9029

URL:<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp>

〒603-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル 京都農林水産総合庁舎1F



国民の森林・国有林